

エコのわスタイル

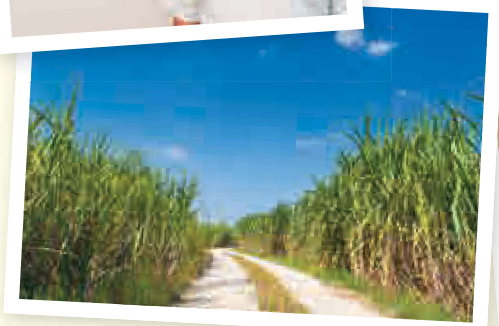
エコのわスタイルは、環境をテーマに区民や区内の企業、団体の活動や想いなどを紹介します。

循環型社会の実現に尽力する老舗企業の“エコカ”に注目

スーパーバッグ株式会社 本社 / 豊島区西池袋



パッケージ関連事業のスーパーバッグ株式会社は、1905(明治38)年に創業した豊島区内屈指の“百年企業”です。紙袋(ペーパーバッグ)をはじめ、ポリ袋・レジ袋・エコバッグなど、包装製品の企画・製作・流通を幅広く手掛けています。近年は、私たちの生活に密着した環境配慮型パッケージ製品の開発にも尽力しています。執行役員開発部長の飛田修吾さんにお話を伺いました。



▲美しいサトウキビ畑は、バイオポリエチレンの故郷です!



▲バイオマスポリ袋



▲新聞古紙100%の再生紙袋



注目のバイオポリエチレンはサトウキビから誕生

当社では、サトウキビから作る植物由来のバイオポリエチレンを基礎原料とした、バイオマスポリ袋・レジ袋を製品化しています。サトウキビの“搾りかす”を利用しているため、地球環境に優しく、従来の石油由来ポリエチレンに比べ、CO₂排出量を約70%削減※することができます。皆さんがよく利用されるハンバーガーショップや、コンビニエンスストアでも使われているので注目してみてください。 ※バイオポリエチレン100%の場合



日本の贈答文化を意識した環境対策もおすすめ

また、当社では、これまでにない紙袋の製品化もしています。そのポイントは、新聞古紙などから作られる再生紙や、持続可能な開発目標(SDGs)に対応したFSC認証紙(森林認証紙)を使用しているところにあります。ぜひ多くの方々にご利用いただき、森林伐採や海洋プラスチック問題など、環境に対する意識を高めてもらえればうれしいです。

環境に配慮して過剰包装を断ることも一つの対策かもしれません。しかし、日本には「熨斗」や「水引」という美しい贈答文化があります。簡易包装であっても気持ちを大切に、そんな日本ならではの環境対策があってもいいのではないかと思います。

世界に一つだけのMyエコバッグ!



『IKESEI夏祭り』での作品の一部

豊島区の産業見本市『としまMONOづくりメッセ』でもおなじみの、スーパーバッグ社によるワークショップ「イラストを描いて自分だけのエコバッグづくり」。この夏は西武池袋本店の夏のイベント『IKESEI夏祭り』でも開催。子どもから大人まで好きなイラストを描き、世界で一つだけのエコバッグが完成しました。

◆ ご意見・ご感想・エコ情報をお待ちしております ◆

はがき、メール、FAXのいずれかで、住所・氏名・年齢・電話番号・アンケートの答えの他「ご意見・ご感想、エコのわで取り上げて欲しい人や場所、企業、エコに関する情報」などを明記のうえ環境政策課までお寄せください。

★アンケート「エコのわ 24号」でよかった記事を教えてください。(いずれか1つ)

①表紙 ②プラスチックについて考えよう ③循環型社会の実現に尽力する老舗企業の“エコカ”に注目

掲載されている記事・写真・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。

【エコのわ】第24号 令和元年11月12日発行

発行：豊島区環境清掃部環境政策課 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

電話：03-3981-2771(直通) FAX:03-3980-5134

メール：A0029180@city.toshima.lg.jp

制作協力：株式会社エデュケーショナルネットワーク



第24号は、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成事業です。

